

1. 本園の教育目標

- ・豊かな自然環境を活かし、情操豊かな人間の素地を育てる。
- ・様々な体験を教育に取り入れ、体験を重ねることによって自信をつける。
- ・素直で正しく明るい、また他人を思いやる心を培う。
- ・共に助け合うことの大切さやよろこびを体験し、社会性を身に付ける。
- ・神様を敬い、祖先・親・家族・周りの人々や事物に対し感謝する心を養う。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・幼稚園教育要領の改定を踏まえた教育課程・指導計画の共通理解をはかり、実践し、教育内容の改善、施設の改善に取り組む。
- ・研修等を通じ、教員の専門性・資質を向上し、保育に反映する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育課程の見直しをして職員間に共通理解をはかった。 ・昨年度より取り組んでいる自由保育について教職員間で効果・課題等の検証と今後の方針についての共通理解をはかった。
教育課程・子どもの実態等を基に、指導計画を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程を基に、学年ごとに指導計画を作成し、教育に反映させた。 ・各学年（クラス）月週案を作成して目標を立てた。
教員の資質、教育の向上のため、研修等を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・園外の研修へ積極的に参加した。 ・園内でも定期的に研修を行った。 ・定期的な職員会議等で気付いたことを話し合い、教員一人ひとりの資質向上につなげた。
子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの高まる早朝及び放課後の預かり保育の充実をはかり、安全で楽しく過ごせるよう配慮できた。 ・親子サークルは新園舎建設の影響もあったが、参加者も全体的に低調だった。また、担当者の取り組みが不十分なところが見られたため、指導を行った。 ・「ほっとほっとくらぶ」では、子育てに関する悩み等の相談に応じた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員会議や園内研修等を定期的に行い、取り組むべき課題と園の方針を、教職員間で共有することができた。

園外研修にも積極的に参加し、教員一人ひとりの資質・専門性の向上に取り組むことができた。

また、認定こども園への移行を踏まえ、それに対する研修等にも取り組んだ。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
教育課程	教育課程の点検をおこない、より一層の充実を図っていく。また、幼保連携型認定こども園への移行を踏まえ、教育・保育要領を踏まえた教育・保育課程の作成に取り組む。
教職員の資質・専門性の向上	専門知識や技能を身につけていることに対する自己評価が低かったので、研修へのより積極的な参加等を促し、資質・専門性を向上させる。
安全管理体制の向上	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルに沿った訓練をおこない、あわせてマニュアルが実働的か検証する。 来客者の出入りについての管理を徹底する。 毎月の避難訓練がマンネリ化することなく、様々な事象を想定した訓練をする。 園外保育の際の事前調査、申請、安全管理体制の再点検を行う。
子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 預かり保育について、ニーズの高まりに対応したより一層の教職員配置及び環境の充実をはかっていく。

I 保育の計画

	評価項目	はい	いいえ	わからない
1	園の教育理念や、教育方針を理解している。	14		1
2	園の教育方針に共感している。	15		
3	園の目指す幼児の姿を、具体的にイメージできる。	15		
4	指導計画は教育要領・教育課程・幼児の実態などをもとに考えて作成している。	12	1	2
5	指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような、環境構成をしている。	12		3
6	自分の保育と計画の評価・反省について次の保育と計画に活かせるようにしている。	14		1
7	幼児が安全で心地よく過ごすことができる環境を整えている。	15		

II 保育の在り方、幼児への対応

	評価項目	はい	いいえ	わからない
8	一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている。	15		
9	幼児に合わせて同じように動いてみたり、同じ目線に立ってものを見つめたりしている。	15		
10	「先生のようにやってみたい」と幼児が思うようなモデルとしての姿を心がけている。	15		
11	幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている。	15		
12	幼児のことについて常に、教職員同士で話し合い、クラス・学年をこえて情報を提供している。	14		1

III 教師としての資質や能力・良識・適性

	評価項目	はい	いいえ	わからない
13	教師として専門知識や技能を身につけている。	10	4	1
14	幼児や保護者との対応には公平さを欠かさないようにしている。	15		
15	職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	15		
16	幼児や教育に関する情報を絶えず捉えようとしている。	15		

IV 保護者への対応

	評価項目	はい	いいえ	わからない
17	個々の子どもの様子は、直接話をしたり、電話などを使って伝えあっている。	15		
18	保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている。	15		
19	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、管理者・担当者に連絡、報告、相談している。	14		
20	保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については容易に受けたり、断ったり、無視しないで園長や副園長、主任に報告や相談をしている。	15		
21	園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや、会話を心がけている。	15		

V 研修と研究

	評価項目	はい	いいえ	わからない
22	研修会や研究会に参加する場合は、事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめたりしている。	10	1	4
23	自分の保育については、自己課題をもって計画と反省を行っている。	13	1	1
24	子どものみとりとその内面理解について研修・研究を行っている。	11	1	3
25	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている。	13		2
26	子どもを取り巻く様々な状況が変化してきているについて、学習し、何が問題であるか、背景・原因・実態はどうであるかについて理解したり、学習している。	14	1	
27	アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について理解している。	12	1	2
28	さまざまな変化の中で、幼児にとって何が問題であるか、幼稚園としては、それに対してどのような教育を行わなければならぬのか、考えたり学習したりしている。	13	2	
29	危機管理について、現状やあり方、考え方について学習している。	15		
30	決まった研修以外にも、自ら積極的に資質向上のための自己研鑽を行っている。※内容・詳細は次頁で記載してください	9	4	2